

**「多世代交流・健康増進拠点施設整備基本計画(案)」に対する  
御意見及びこれに対する市の考え方**

1. 募集期間 令和2年9月28日(月)～令和2年10月27日(火・必着)  
2. 意見提出者 3名

意見者	意見の要旨	意見に対する市の考え方
意見者1	<p>① 温浴・健康機能について 本施設で検討する「快適で魅力的な温浴機能」の想定はどういったものか。山口市として健康機能を提唱する目的として、市民の健康寿命を延ばすことにより、社会福祉経費を削減するなど、何らかの目的の明確化が必要であり、松本市が取り組んでいる「松本ヘルスラボ」のように、医療関係者やトレーナー等が一体となった機関、システムが必要と考える。山口県は生活習慣病健診である特定健診の受診率が全国ワースト1位(H27.28)、一人当たりの医療費も全国1位(H24)となっており、この機会に、こうした状況の改善について考えるべきではないか。また、民間にできない施設として、浴槽の規模を現状のままとし車いすで入れる浴室を設置してはどうか。</p> <p>② 交流機能について 半屋根の多目的スペースと記載があるが、建設予定地は居住地の中にあり、照明、音での問題や、夏の暑さ、冬の寒さの中で、通年利用することができるのか。屋内としての多目的スペースが妥当と考える。芝生や緑地などの広場スペースについては、近くに中央公園、井上公園、少し足を延ばせば、維新公園といった同じような機能を持った施設があり、整備の必要性が</p>	<p>① 温浴・健康機能については、寿泉荘を多世代型の温浴機能として更新し、整備規模については、現在の寿泉荘の規模を基本として、多世代型へ更新することを踏まえ、浴室等は適切な規模となるよう拡充する考えです。温泉を活用した健康増進の取組については、いただいた御意見や市民の皆様、関係者の皆様、サウンディング等を通じた事業者からの御意見などを参考にさせていただきながら、事業展開の内容を固めていく中で検討させていただき、その内容を基本設計にも反映していく考えです。施設のバリアフリー整備についても、今後の基本設計において検討していきます。</p> <p>② 騒音対策、暑さ・寒さ対策として、開閉型の壁の設置や樹木等による緩衝帯の設置、断熱材の活用や温泉の熱の活用等について、基本設計において検討を行います。また、交流機能については、整備内容や整備規模について、基本設計において、引き続き、市民の皆様と意見交換を行いながら、整備の検討を進めていく考えです。</p>

	<p>あるのか。</p> <p>③ 飲食スペースについて          温浴施設内の簡単な施設を備えることは必要であるが、山口市の素案の内容では、民業圧迫となる。錦川通り沿いに多くの飲食店があることから、あえてこの施設に付帯する必要はない。</p>	<p>③ 飲食スペースについては、施設の附帯的な機能として整備を予定しております。湯田温泉街へ繰り出していただくきっかけとなるような軽食の提供等を行うものとして整備を行いたいと考えております。</p>
<p>意見者2</p>	<p>① 温浴施設のあり方について          市民温泉としての位置づけは良いし、全世代が利用できるものとする点も賛同するが、これまでの老人憩の家としての位置づけからすると、入浴料金が5倍程度となるのはいかがか。高齢者割引や市民割引を検討すべきではないか。</p> <p>② 大屋根広場等の交流機能のあり方について          「新山口駅北口での産業交流拠点施設での大規模なコンベン</p>	<p>① 温泉の利用料金について、本基本計画策定に際して他施設の利用料金の調査を行った中で、県内を含む全国の公共日帰り温泉においては、おおむね400円から600円までの利用料金を設定されている施設が多く、また、湯田温泉における同様の民間日帰り温泉においては、おおむね400円から900円までの利用料金を設定されている状況でした。また、一般公衆浴場いわゆる銭湯については、山口県の大人料金は最高420円と指定されています。加えて、本年7月から8月にかけて実施した寿泉荘の利用者アンケートの結果では、約7割の方が、県内の公共日帰り温泉の利用料金を踏まえられた中で、施設の機能強化が行われるのであれば、ある程度の値上がりはやむを得ないと回答されました。こうしたことを踏まえ、基本計画において、温泉の利用料金は大人500円程度を想定していることをお示しております。なお、高齢者に限定した料金設定については、想定をしておりませんが、年間パスポートの導入や健康づくりの企画事業等における限定的な利用料金設定等について、引き続き、検討していく考えです。</p> <p>② 交流機能の整備内容や整備規模、事業展開の内容につきましては、アフターコロナにおける地域社会の姿も見据えながら、引き続き、基</p>

	<p>ション後の各種催しや懇親会が可能となる施設」とあるが、現在の新型コロナ禍において現実的か疑問である。経費節減のため、再検討をお願いしたい。</p> <p>③ 既存施設で廃止、移転が計画されるものについて  ア 児童文化センター 現在の少子化のもと、子育て支援施設の廃止について、再検討をお願いしたい。</p> <p>イ 放課後児童クラブ 湯田小学校の近くに移転する適地がなければ新たな施設内に存続する方向で検討してみてはどうか。</p>	<p>本設計において検討をしてみたい。</p> <p>③ ア 児童文化センターにおきましては、子どもたちが自ら積極的に文化の向上に努め、豊かな心と創造力を育むことができるよう絵画・工作教室や習字教室などの児童文化講座を始めとした各種取組を展開してきましたが、現在、各地域交流センターにおいても、児童文化の向上や家庭教育の支援に関する事業などが積極的に展開されていることなど、当センターを取り巻く環境が設置当初からは変化しています。加えて、当センターは設置から57年が経過し、施設そのものの老朽化が進んでおり、施設の安全安心を踏まえながら、山口市公共施設等総合管理計画のもと、施設の在り方について検討を重ねてきました。</p> <p>こうした前提を踏まえ、今後、建物を解体し、廃止することとしておりまして、児童文化の向上や家庭教育の支援に関する取組については、引き続き、各地域交流センター等で取り組んでまいります。</p> <p>イ 放課後児童クラブについては、児童の安全性の確保のため、学校の敷地内又は学校の近隣に移転するかたちが望ましいと考えており、そうした場所への移転に向け調整を進めています。</p>
意見者3	<p>① 全体として  児童文化センターの廃止について、少子高齢化時代でも市としても定住人口増加を重要視されており、未来ある子どもたちを大事にした町づくりを希望する。一人ぼっちの子どもと子育て</p>	<p>① 児童文化センターにおきましては、子どもたちが自ら積極的に文化の向上に努め、豊かな心と創造力を育むことができるよう絵画・工作教室や習字教室などの児童文化講座を始めとした各種取組を展開してきましたが、現在、各地域交流センターにおいても、児童文化の向上</p>

中の若い母親の居場所を簡単にやめないでほしい。子どもと若い母親にとっての手厚い住民サービスこそ、住んでよし、定住増加につながる近道と考える。

② 健康増進

ア 市の保健センターの保健師と協力し温泉を利用した健康教室を開催してはどうか。

イ 浴槽 健常者も肢体不自由の方も利用できるようスロープ付、手すり付など、別の浴槽の整備を考えてはどうか。また、変わり湯、サービス湯(ジェットバス、サウナ、露天風呂、薬草湯)は、民間にお任せ、この施設にはシンプルなものでよいと考える。

ウ 料金 市民が恩恵を感じられる価格設定を望む。高齢者(80才以上)、障がい児、障がい者の割引の検討をしてはどうか。500円は高く、気楽には行けないと感じる。

や家庭教育の支援に関する事業などが積極的に展開されていることなど、当センターを取り巻く環境が設置当初からは変化しています。加えて、当センターは設置から57年が経過し、施設そのものの老朽化が進んでおり、施設の安全安心を踏まえながら、山口市公共施設等総合管理計画のもと、施設の在り方について検討を重ねてきました。

こうした前提を踏まえ、今後、建物を解体し、廃止することとしておりまして、児童文化の向上や家庭教育の支援に関する取組については、引き続き、各地域交流センター等で取り組んでまいります。

② ア 温泉を活用した健康増進の取組については、いただいた御意見等を参考に、今後、本施設の事業展開を固めていく中で検討していきます。

イ スロープ、手すりの設置、浴槽の整備内容など、いただいた御意見については、参考にさせていただき、今後の基本設計の中で検討していきます。

ウ 温泉の利用料金について、本基本計画策定に際して他施設の利用料金の調査を行った中で、県内を含む全国の公共日帰り温泉においては、おおむね400円から600円までの利用料金を設定されている施設が多く、また、湯田温泉における同様の民間日帰り温泉においては、おおむね400円から900円までの利用料金を設定されている状況でした。また、一般公衆浴場いわゆる銭湯については、山口県の

	<p>③ 設計工事 情報芸術センターの屋根が飛ぶということがあった。市の予算にあった豪華でなく質素で丈夫な施設の整備を望む。</p>	<p>大人料金は最高420円と指定されています。加えて、本年7月から8月にかけて実施した寿泉荘の利用者アンケートの結果では、約7割の方が、県内の公共日帰り温泉の利用料金を踏まえられた中で、施設の機能強化が行われるのであれば、ある程度の値上がりはやむを得ないと回答されました。こうしたことを踏まえ、基本計画において、温泉の利用料金は大人500円程度を想定していることをお示しております。なお、高齢者に限定した料金設定については、想定をしておりますが、年間パスポートの導入や健康づくりの企画事業等における限定的な利用料金設定等について、引き続き、検討していく考えです。</p> <p>③ 施設の整備効果が発揮できる適切な事業規模となるよう、基本設計の中で検討してまいります。</p>
--	--	---